

令和3年12月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和3年12月27日（月）13時～14時

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、読売新聞、河北新報、毎日新聞、置賜日報
NHK、SAY

<市>市長、秘書広報課長、健康課長、子育て支援課長、地域振興課長

4 記者倶楽部からの質問事項

(1) 新型コロナの3回目ワクチン接種のスケジュールが示されましたが、3回目接種について市長として市民に呼びかけたいことがあれば、お聞かせください。

(2) 中川市長の公約でもあった屋内遊戯施設の基本設計概要が示されましたが、米沢市施設としての特徴を説明してください。また、完成イメージ図への感想をお聞かせください。

(3) 地域公共交通計画図案についての市民説明会が始まっていますが、市民から意見・要望が出ましたか？代表的な意見・要望を教えてください

(4) その他

5. 内 容

○秘書広報課長

これより令和3年度12月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに市長から発言がございます。

○市長

今月の定例記者会見のご質問は3件でした。

1点目は「新型コロナの3回目ワクチン接種のスケジュールが示されましたが、3回目接種について市長として市民に呼びかけたいことがあれば、お聞かせください」との質問です。

本日までに、12歳以上の市民の皆様のうち約88.4%が2回のワクチン接種を完了

しております。ワクチン接種・感染防止にご協力いただいたことに御礼申し上げます。

3回目のワクチン接種のスケジュールが示されております。本市では12月から医療関係者の3回目のワクチン接種が始まりました。一般市民の皆様については、1月から接種を予定しております。接種券は1月初旬から順次送付予定です。国が示しているワクチン供給は3月分までです。昨年7月までに2回接種した方の分が供給予定です。供給量などのご質問があれば、担当課長からお答えさせていただきます。今まではファイザー製ワクチンが主でありましたが、3回目の接種はファイザー社、モデルナ社の2社からほぼ半々で供給される予定です。ワクチンの希望などにどう対応するかについても、ご質問があれば担当課長からお答えいたします。

ファイザー製を2回接種した方でも、3回目はモデルナ製を接種する可能性もあります。交互接種の方が効果的ではないか、という報道もあります。そういったことも考慮しながら、ワクチンの接種希望には応えていきたいと思っております。

これまで順調にワクチン接種を進めてまいりましたが、ここ数日は大雪になっております。年明けも大雪が予想されております。高齢者の方から3回目の接種が始まりますが、2回目接種から8か月経過したからすぐに接種しなければならない、というものではありません。天候や、個々人の体調に合わせて無理せず接種いただきたいと思っております。

最近はおミクロン株といった感染力の強い変異ウイルスも出てきております。ワクチン接種が新型コロナウイルス感染防止に最も有効だと思っておりますから、できるだけ多くの方に接種していただきたいと思っております。

2点目は「中川市長の公約でもあった屋内遊戯施設の基本設計概要が示されましたが、米沢市施設としての特徴を説明してください。また、完成イメージ図への感想をお聞かせください」との質問です。

施設には多種多様な遊びの機能が盛り込まれていると思っております。それぞれの遊具で難易度が異なっておりますから、子どもたちが自分の成長レベルに合わせて遊具を選択できると思っております。

また、完成イメージ図の感想ですが、あくまでもパース図ですから、大きさや遊び方などはまだ分かりません。しかし、色々な機能があり、素晴らしい遊具施設になるだろうと思っております。完成を楽しみにしております。

小さなお子さんを持つ保護者の皆様が待望している施設です。子どもの発育・成長につながる施設になることを楽しみにし、また、期待しております。

3点目は「地域公共交通計画図案についての市民説明会が始まっていますが、市民から意見・要望が出ましたか？代表的な意見・要望を教えてください」との質問です。

市役所や伝国の杜、中学校、コミュニティセンターを会場に、12月8日から7カ所で公共交通に関する市民説明会を開催しました。約50名の来場があったと聞いています。市の計画内容の説明のほか、計画策定にアドバイスをいただいた福島大学准教授の吉田樹先生から、各地域での公共交通の進め方・考え方に関するビデオメッセージも放映しました。参加した市民の方からは、概ね良い説明だったという感想をいただいております。

説明会での主な意見ですが、「現在の循環バスは冬になると減便されるが、冬こそ利用者が増えるので、減便するべきではない」「コミセンにバス停が無いので、コミセンにバス停があったほうが良い」「バス料金が高いので安くするともっと乗るのではないか」「地域内でも路線バス（山公バス）の区域とデマンド交通の区域を分けるなど、地域に合った交通を検討してほしい」「公共交通は利用するだけでなく、住民が自分たちで作る事が大切だと思った。計画策定を待たずに、膝を突き合わせて市と話をしていきたい」という意見がありました。

こういったご意見に対して、地域の公共交通を前向きに考えたいという感想をいただいた地域があるなど、地域の実情を把握できたことが今回の説明会の成果だと考えております。

この件についても、担当課長が来ております。詳細についてご質問があればお答えさせていただきます。

○秘書広報課長

市長からの発言は以上となります。これ以降の進行につきましては、幹事社にお渡しいたします。よろしくお願いいたします。

○記者

ワクチンの供給見通しと、交互相種など3回目のワクチンは種類を選べるか、3回目の副反応はどうなるのかお聞かせください。

○健康課長

ワクチンは3月までの分が確定しております。ファイザー製が約18,000回分、モデルナ製が約11,550回分決定しています。また、2回目接種から8か月経たなくとも医療従事者や高齢者が前倒し接種できる分として約2,700回分が供給予定です。この2,700回分は確定ではなく、今後県で調整されます。4月以降の供給スケジュールは現在のところ示されておられません。

交互相種については、現在供給が確定している分はファイザー製が約6割、モデルナが約4割のシェアです。このため、2回目と同じワクチンで接種できるとは限りません。本市では、個別接種でファイザー製、集団接種でモデルナ製を使う計画です。モデルナの方が1バイアルあたりの人数が多いため、集団接種向きではないかと医師会と相談して決めました。

1つの会場で同じ日に2種類のワクチンを扱うことはないため、日付・会場・ワクチンの種類を確認いただき、予約いただければと思います。

3回目の副反応については、国が示したものの以外はこちらでは分かりかねますが、3回目接種のご案内と一緒に、副反応についての説明もお送りします。説明を見ていただき、3回目接種をご検討いただく予定です。

○記者

3回目のワクチン供給量は、2回接種を終えた方の数を基準にしているということですか。

○市長

はい。ただし、2回の接種を終えた方の100%は難しいと思っています。

また、2回の接種を終えていない方には引き続き接種を呼びかけています。

○記者

ファイザー、モデルナの希望はできるということですが、これは先着順ですか。

○健康課長

ワクチンの希望を取るというよりも、会場・日付によってワクチンが決まっています。詳しくは皆様にご案内をお送りしますが、何日にどの会場でどのワクチンを接種できます、というカレンダーをお送りする予定です。集団接種は日付・会場・ワクチンの種類を確認していただき、希望する日を予約いただきます。個別接種は基本的にファイザー製ワクチンを使います。どの医療機関で接種できるかは別途ご案内します。

○記者

1、2回目にファイザー製を接種した方が多いと思います。ファイザー製ワクチンに希望が集中して足りなくなった場合はどうなりますか。

○健康課長

1、2回目接種はファイザー製だった方が多いため、ファイザー製に希望が集中する可能性は高いと思います。しかし、供給されるワクチンの種類を国に希望することはできないため、供給された数量の中で接種を進めるしかない状況です。交互接種をしても問題ない旨を市民の皆様にしっかりと説明します。

○記者

そうすると、基本的には先着順ということになりますか。

○健康課長

はい。

○記者

年末の帰省について、今年はどう呼びかける予定ですか。

○市長

山形県では特に宣言を出していない状況です。国からは帰省を控えるようにという

呼びかけもありますが、山形県や米沢市においては帰省を控えるように呼び掛ける状況ではありません。帰省される方は感染防止に取り組みながら帰省いただければと思います。

○記者

雪が降った場合、移動ができないなどの理由でワクチン接種が予定どおりに進まない可能性もありますが、市としてどのように対応する予定ですか。

○健康課長

接種に行けないという連絡をいただければ、余分に希釈しないように調整し、廃棄が出ないようにします。

○記者

市長は3回目の接種をする予定ですか。する場合はいつですか。

○市長

2回目の接種から8か月経つのが来年の3月です。ファイザー製であれ、モデルナ製であれ、接種する予定です。

○記者

児童遊戯施設の材質は何ですか。

○子育て支援課長

主要構造体はスチールです。

○記者

一度に遊べる許容人数は何人くらいですか。

○子育て支援課長

体育館には180人入れますが、遊具に180人全員が上ることはできないと思います。許容人数は業者に確認が必要です。

○記者

オープンは令和5年の10月ですか。

○子育て支援課長

はい。10月を目標にしています。

○記者

地域公共交通計画の市民説明会に集まった人数は、7会場合計50人ですか。

○地域振興課長

はい。7会場合計です。正確には49人です。

○記者

色々と意見があったと思いますが、市としては現時点で対応できますか。

○地域振興課長

事業計画に対する意見が多かったと思います。今後5年間の中で、市民の方と話し

合いながら実施していく予定です。

○記者

市長として改めて、計画案への思いをお聞かせください。

○市長

少子高齢化が進んでいます。全国的な話題になっているのが、高齢者の交通事故です。特に米沢は面積が広く、山間の地域もあり、自家用車が無いと不便だという声があります。公共交通を今後どう活用して交通弱者に対応するか、ということが課題だと思います。コンパクトなまちづくりという方針もあります。市民の皆様の声を大切にしながら、今後の事業の参考にしなければならないと思っています。今後、公共交通網が整備されましたら、多くの方に利用いただきたいと思っています。

○記者

環状線と市内中心部の整備見通しはどうなっていますか。

○地域振興課長

市内中心部には循環バスが右回り、左周り、南回りの3路線走っております。これらは主要公共施設を結ぶ路線として市民の方に定着していると思いますが、将来的には南北線を新たに作るなどさらに利便性を高める必要があると思います。

○記者

万世～成島を結ぶ東西線道路整備の話があったかと思いますが、将来的な話ですか。

○市長

まだ具体的なことは決まっていますが、県にお願いをしてきた万世成島線整備事業の目的は、医療連携病院へのアクセスを良くするためです。必要があるならば、山交バスともダイヤの調整をするなど、病院に通いやすい公共交通網整備を考えていかなければならないと思います。

○記者

子育て世帯への臨時特別給付が始まったと思います。作業は順調ですか。

○子育て支援課長

はい。本日27日、口座に送金しました。

○記者

対象者12,000人だと思いますが、内訳はわかりますか。

○子育て支援課長

中学生までの児童手当支給対象が約9,000人。高校生のみが約2,200人。このほか、今後出生予定の新生児を合わせて約12,000人です。

○秘書広報課長

これをもちまして令和3年12月の定例記者会見を終了させていただきます。